



新年のご挨拶

公益社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会

公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会埼玉本部

会長・本部長 江原貞治

『安心・安全・満足の不動産取引を支えるハトマーク宅建協会』を目指して ～「三つの施策」と「3・1・2運動」の推進～

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

本年も、宅地建物取引業の更なる発展に向けて、全力で会務運営に取り組む所存でございますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、我が国はいよいよ人口減少局面に突入し、全国の空き家は850万戸に達しようとしています。さらに、新型コロナウイルス感染症が再拡大し、業界も「コロナ禍」の影響を少なからず受けています。こうした状況に対し、我が国は英知を結集して必ずやこの感染症を克服し、景気対策と東京オリンピックの開催によって、経済を回復し新たな成長を実現することでありましょう。

本会は、埼玉県知事が認定する唯一の宅地建物取引業の公益社団法人として、そして、会員数業界ナンバーワンの団体として、「ハトマークグループ・ビジョン」に基づく人材育成、不動産無料相談等の各事業に取り組み、業の健全な発展と市場の活性化を図ってまいります。昨年8月には、全宅連と連携し改正民法に対応したクラウド型契約書作成システムを稼働させ、会員の皆様の業務利便性を向上いたしました。特に、特約・容認事項文例集を充実させておりまので、実務にお役立ていただきたいと存じます。

私は、会長として『三つの施策』を掲げ、誠心誠意、事業を推進しております。

まず1つめは、『安心・安全・満足の不動産取引を支えるハトマーク宅建協会』です。県民の皆様に安心・安全・満足の取引をしていただくため、そして、会員が専門家として地域に根ざし今以上に活躍するため

に、宅建協会は強力にサポートしてまいります。会員資質の更なる向上を通じて、消費者保護を図り、タウンマネジメントスクールの開催による地域のローカルスーパースターの誕生にも取り組んでまいります。

次に、『明るい宅建協会』にいたします。「笑う門には福来たる」という諺があるように、組織は明るくなければなりません。改革をより進め体質改善を図ってまいります。実務研修会を開催するとともに、あらゆる広報活動を通じてハトマークの宅建協会の周知を図ります。さらに、新型コロナウイルス変革期に対応した新たなビジネスモデルの構築に取り組んでまいります。

そして、『強い宅建協会』を作ります。正確な情報収集と迅速な対応を図り、自分達の意思を「はっきりと表明できる」協会にしてまいります。宅地建物取引主任者から宅地建物取引士に変わり「士」になりました。「更なる社会的地位の向上」を図り、「地域社会への貢献」、そして「地域の活性化」に取り組みます。

私は、「安心・安全・満足の不動産取引」を推進するため、粉骨碎身全力で、公益事業活動を推進する覚悟でございます。そして、本会と埼玉宅建協同組合、全宅連、全宅保証のハトマークグループ全体の連携強化によって、会員業務支援の充実を図ることをお約束いたします。

どうか会員の皆様方には、今後も「宅地建物取引業」の発展のため、ご協力をお願い申し上げます。そして“共に頑張っていきましょう”ということを申し上げます。

結びに、会員の皆様方のご健勝とご繁栄、そして益々のご活躍を心からご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。